

# 株式会社クエスト 2010年度決算説明会

2011年5月20日

株式会社クエスト  
(大証JASDAQスタンダード 2332)  
代表取締役社長 佐藤 和朗

# 本日のポイント

1. 売上高は63.3億円(前年度比+2.8%)、営業利益2.5億円(前年度比+43.5%)、経常利益は2.8億円(前年度比+47.5%)となった
2. 売上高、利益ともに前年度実績を上回る。ERP案件の新規受注、生保・損保統合案件受注により売上増加、内製化の推進による稼働率向上により利益が増加した
3. 2010年度中期計画の進捗としては、①インフラソリューション基盤確立②独自のアプリケーションモデル・ERPパッケージ型モデルの構築③ソリューション型ビジネスの実行体制強化に取り組み、着実な成果が得られた
4. 2011年度は売上高67億円、経常利益3億円を計画。「ソリューション型事業モデルへの転換と新規顧客開拓」を掲げ、「ソリューションの確実な創造」と「保守・運用ビジネスの高度化」に取り組む

## I. クエストについて

## II. 2010年度決算概要

## III. 2010年度中期計画の進捗状況と 2011年度の取り組み

## IV. 株主還元方針

# 株式会社クエストについて

- 上場市場 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード) 証券コード:2332
- 設立 1965年
- 代表者 代表取締役社長 佐藤 和朗
- 資本金 4億91百万円
- 事業内容 システム開発・保守、インフラサービス、  
ビジネス・プロセス・アウトソーシング、IT Value-Upサービス
- 従業員 684名(2011年3月末 連結)
- 決算期 3月末
- 売上高 63億33百万円 (2011年3月期 連結)
- 経常利益 2億81百万円 (2011年3月期 連結)
- 所在地 東京都港区芝浦1-12-3 Daiwa芝浦ビル
- 関連会社 株式会社データ・処理センター  
株式会社ドラフト・イン  
慧徳科技(大連)有限公司(QUEST (DALIAN) CO.,LTD.)
- 認証資格 プライバシーマーク  
ISO/IEC27001:2005  
CMMI(レベル3)

**I. クエストについて**

**II. 2010年度決算概要**

**III. 2010年度中期計画の進捗状況と  
2011年度の取り組み**

**IV. 株主還元方針**

# 連結決算概要

## ◆連結損益の状況 前年度・計画との比較

(単位;百万円)

	2010年度 実績	対前年度比		対計画比	
		2009年度 実績	増減率	2010年度 計画	増減率
売上高	6,333	6,163	+2.8%	6,430	-1.5%
売上総利益	1,042	921	+13.2%	964	+8.1%
売上総利益率%	16.5%	14.9%	+1.6P	15.0%	+1.5P
営業利益	252	175	+43.5%	268	-5.8%
営業利益率%	4.0%	2.9%	+1.1P	4.2%	-0.2P
経常利益	281	191	+47.5%	280	+0.7%
経常利益率%	4.5%	3.1%	+1.3%	4.4%	+0.1P
当期純利益	151	85	+77.6%	170	-11.0%
EPS (円)	28.65	16.06	+78.4%	32.18	-11.0%

# 業績ハイライト

売上高(連結)は、前年度比2.8%増加  
経常利益は、前年度比47.5%増加

- **売上高 前年度比 2.8%増**
  - 主要顧客の半導体関連案件獲得、損保会社の統合案件や外資系生保会社からの請負開発案件獲得により増加
- **売上総利益 前年度比13.2%増 売上総利益率 1.6ポイント増**
  - 稼働率向上の為、内製化を推進し利益が増加
- **営業利益 前年度比43.5%増 営業利益率 1.1ポイント増**
  - 売上総利益の増加により営業利益が増加
- **経常利益 前年度比47.5%増 経常利益率 1.3ポイント増**
  - 営業利益の増加に加えて営業外収益の増加
- **当期純利益 前年度比77.6%増 当期純利益率 1.0ポイント増**
  - 経常利益の増加により増加
  - 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響(損失 8百万円)

# 事業別連結売上高

## ◆前年度との比較

システム開発8.2%増加、インフラサービス1.4%減少

(単位;百万円)

	2010年度		2009年度		増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
システム開発	3,167	50.0%	2,927	47.5%	+8.2%
インフラサービス	2,757	43.5%	2,797	45.4%	-1.4%
その他	409	6.5%	439	7.1%	-6.9%
合計	6,333	100.0%	6,163	100.0%	+2.8%



# 連結売上高のポイント

システム  
開発  
前年度比 +8.2%

## 金融・半導体関連の受注増加及び既存顧客の深耕による新規サービスの拡大

- ・NAND型フラッシュメモリの需要増による業績回復に伴う半導体製造顧客からの受注が増加
- ・生保、損保会社での統合開発案件が増加
- ・大手電気メーカーの保守業務ニアショア化による受注拡大
- ・ERP案件の新規獲得
- ・SharePoint\*共通OAソリューション案件の獲得

- ・企業のIT投資の冷え込みで、一括大型案件の受注が減少

インフラ  
サービス  
前年度比 -1.4%

## 顧客の新規IT投資抑制によるインフラ構築案件の減少

- ・データセンターサービス、セレクトティブアウトソーシングサービスが堅調
- ・電力系企業のインフラサービスの受注拡大

- ・インフラ構築案件、リモート運用監視業務の減少
- ・顧客社員の再配置等による要員の縮小、単価ダウン、残業抑制などが影響

# 連結貸借対照表

## ◆前年度との比較

総資産が162百万円、3.6%増加

(単位:百万円)

	2010年度 期末	対前年度比		コメント
		2009年度 期末	増減額	
資産合計	4,677	4,515	+162	
流動資産合計	3,661	3,049	+612	有価証券の増加(+401) 現預金の増加(+136)
固定資産合計	1,016	1,466	-450	投資有価証券の減少 (-404)
負債及び純資産合計	4,677	4,515	+162	
負債合計	959	788	+171	未払法人税等の増加
純資産合計	3,718	3,726	-9	利益剰余金の減少

# 連結キャッシュ・フロー

## ◆今期の特徴

収益力が改善したことにより、期末残高が137百万円増加

(単位;百万円)

	2010 年度	対年度比		コメント
		2009 年度	増減額	
営業活動によるCF	322	123	+199	税金等調整前純利益の増加 仕入債務の増加
投資活動によるCF	-26	297	-323	定期預金払戻支出の減少 投資有価証券取得支出の減少
財務活動によるCF	-158	-234	+76	自己株式取得支出の減少
現金及び現金同等の 期末残高	1,409	1,272	+137	

# 連結子会社を含む内訳

## ◆前年度との比較

クエスト単体の利益増加がグループ全体を牽引

(単位;百万円)

	クエスト単体		データ・処理センター		ドラフト・イン	
	2010年度	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度	2009年度
売上高	5,898	5,771	150	155	282	235
営業利益	224	155	24	27	11	4
営業利益率%	3.8%	2.7%	16.6%	17.5%	4.2%	1.8%
経常利益	284	205	24	27	11	4
経常利益率%	4.8%	3.6%	16.6%	17.5%	4.2%	1.9%

# 2011年度 通期連結業績計画

## ◆連結損益計画

不透明な経営環境の中、売上高・利益ともに対前年度比増を見込む

(単位;百万円)

	2011年度 計画	対前年度比	
		2010年度 実績	増減率
売上高	6,700	6,333	+5.8%
営業利益	294	252	+16.5%
営業利益率%	4.4%	4.0%	+0.4P
経常利益	300	281	+6.4%
経常利益率%	4.5%	4.5%	0.0P
当期純利益	170	151	+12.3%
EPS(円)	32.19	28.65	+12.4%

# 2011年度 通期連結業績計画のポイント

売上高 前年度比+3.7億円 (+5.8%)

- アカウントマネジメントの徹底
- 開発保守業務のオフサイト化、ニアショア化による受注拡大
- 電力系企業からのインフラサービス受注拡大
- ERPパッケージ型ソリューションモデルの実践と拡販
- SharePoint\*共通OAソリューションの商品化と拡販
- 稼働率を維持すると共に外注起用を積極的に行い受注拡大

営業利益 前年度比+42百万円 (+16.5%)

経常利益 前年度比+19百万円 (+ 6.4%)

- 高付加価値型のソリューションビジネスの拡大
- 請負型ビジネスのリスク管理強化、プロジェクトマネジメント力の向上
- 保守・運用サービスの高度化による収益力強化
- 経費削減活動の定着化

**I. クエストについて**

**II. 2010年度決算概要**

**III. 2010年度中期計画の進捗状況と  
2011年度の取り組み**

**IV. 株主還元方針**

# 2010年度主要施策の進捗状況

## 2010年度テーマ

## 2010年度進捗と成果

### ①インフラ ソリューション 基盤確立

- 社内向け開発環境のクラウドサービスを展開中
- 外販用クラウドソリューションモデルの構築開始

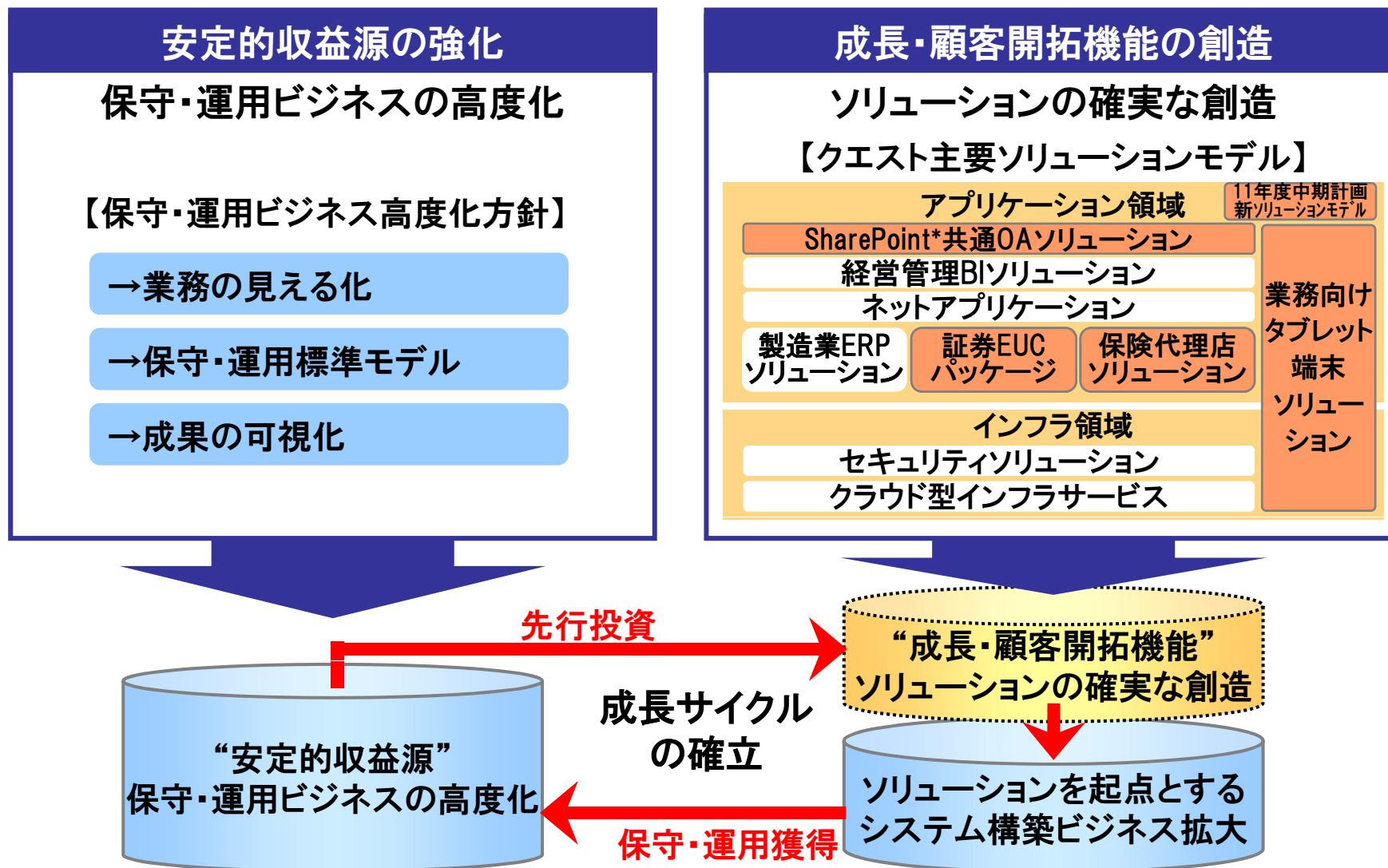
### ②独自の アプリケーション モデル・ ERPパッケージ型 モデルの構築

- 組立製造業向けERPソリューション
  - ・当社業務知識を組み込んだ組立製造業向けテンプレートを開発。大手製造業に導入中
- SharePoint\*共通OAソリューション
  - ・移行作業のモデル化(パターン化とテンプレート化)を実現
  - ・6つのSharePoint\*アプリケーションを開発
  - ・大手製造業グループ企業間への横展開進む
- ネットアプリケーションソリューション
  - ・コンテンツ管理ソリューションを開発し、3案件受注
- 経営管理・BI(ビジネスインテリジェンス)ソリューション
  - ・マイクロソフトExcelベースのプロトタイプを開発、1社受注



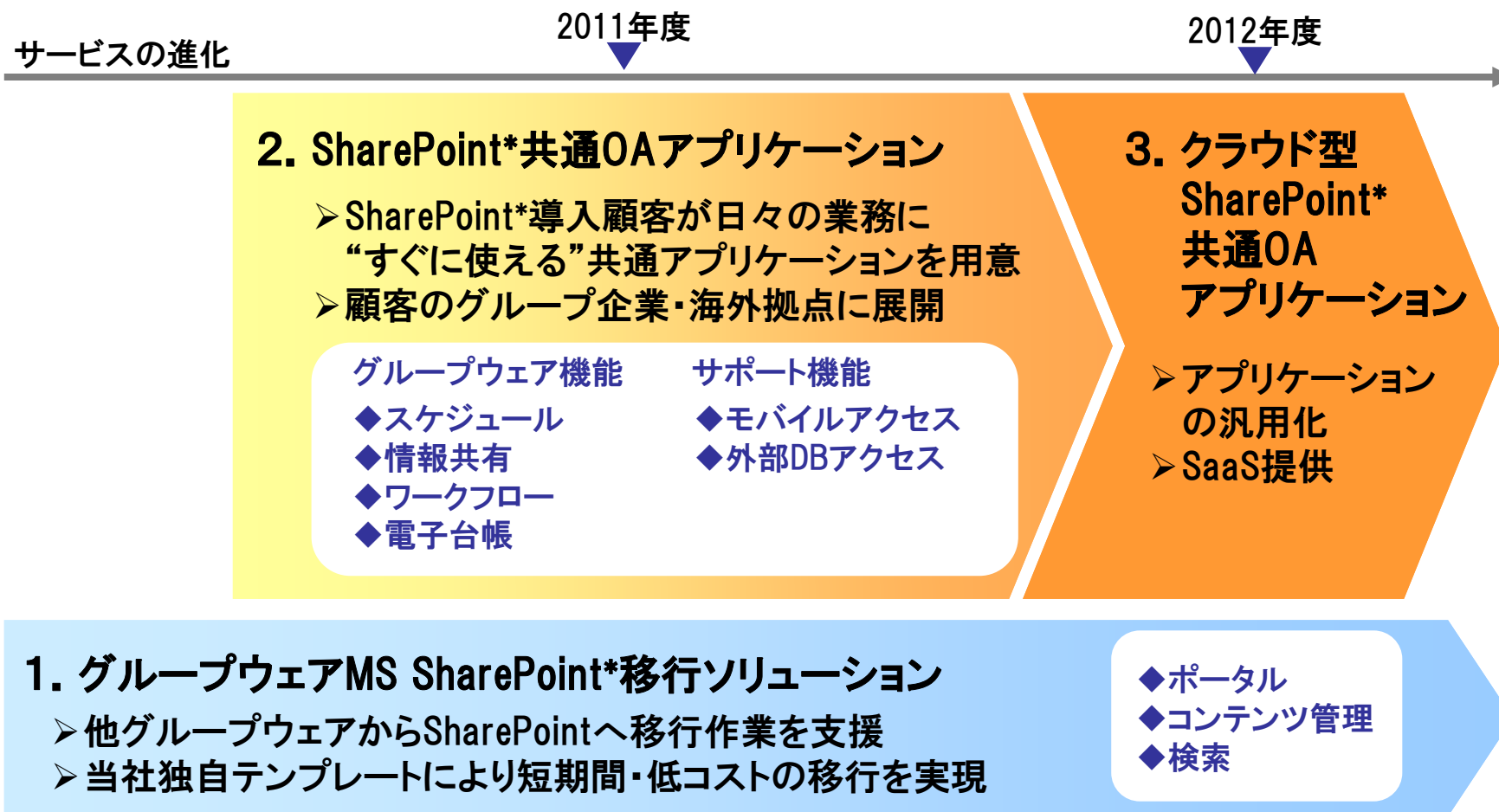
# 2011年度中期経営計画のテーマ

## 2011年度中期計画：ソリューション型事業モデルへの転換と新規顧客開拓



# ソリューション紹介:SharePoint\*共通OAソリューション

マイクロソフト社のグループウェアSharePoint\*上のアプリケーションを提供し、  
顧客の業務効率化・生産性向上を支援する  
クエストのSharePoint\*共通OAソリューション



# 2011年度の実現施策

## 2011年度テーマ

## 2011年度施策

### ソリューションの 確実な創造

- 組立製造業向けERPソリューション
  - ・導入後の保守・運用サービス開始
  - ・販売領域のテンプレートの拡充、導入ガイドラインの整備
  - ・ERP技術者の育成と採用
- SharePoint\*共通OAソリューション
  - ・前年度開発済みSharePoint\*アプリケーションの商品化
  - ・海外パートナーと提携しオフショアサービスモデルを構築
- 業務向けタブレット端末ソリューションの開発と提案
- クラウド環境における運用フルアウトソーシングサービスをデータセンター事業者と提携し立上げ
- 証券EUCパッケージの開発、保険代理店ソリューションの企画

### 保守・運用ビジネス の高度化

- 既存案件の中からパイロットプロジェクトを選定、業務の可視化やモデル化に取り組む

### 先行投資

- 技術獲得・ソリューション構築に関する投資  
2011年度 1.6億円（売上高の約2.5%）

# 2011年度中期計画 業績計画

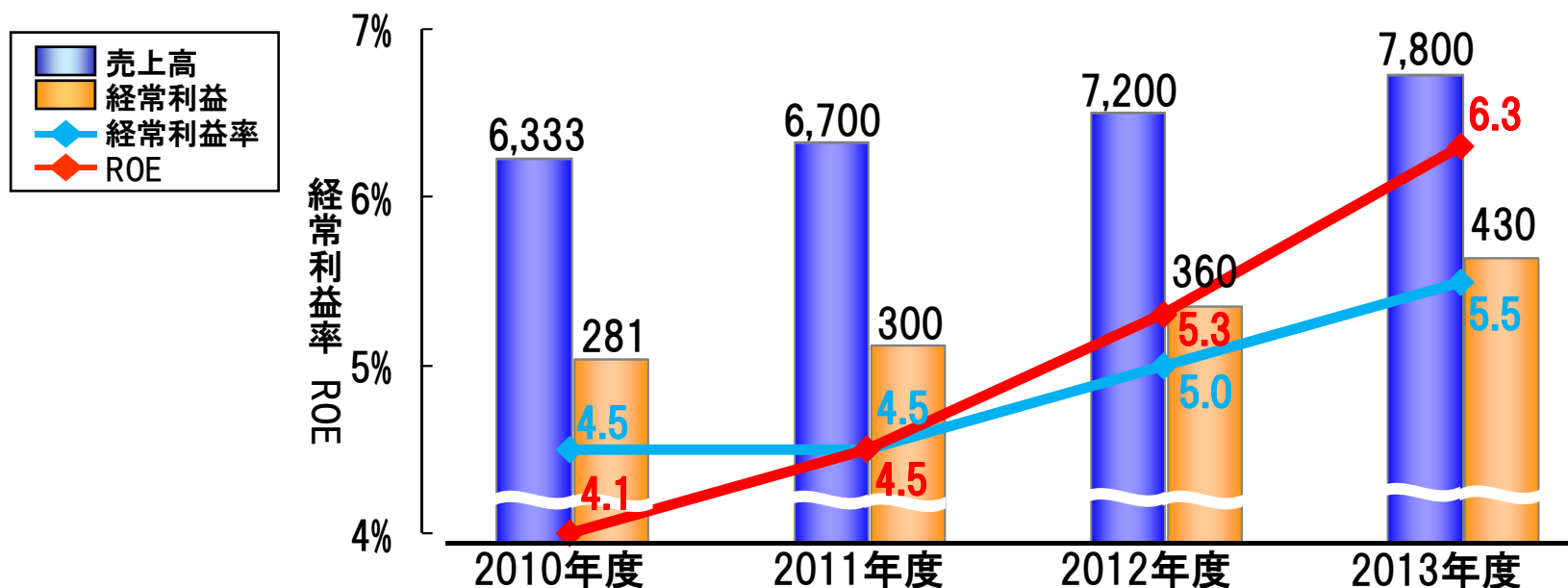
## ◆ 連結数値

(単位;百万円)

	2010年度	2011年度		2012年度		2013年度	
	実績	計画	対前年	計画	対前年	計画	対前年
売上高	6,333	6,700	+5.8%	7,200	+7.5%	7,800	+8.3%
経常利益	281	300	+6.4%	360	+20.0%	430	+19.4%
経常利益率	4.5%	4.5%	0.0%	5.0%	+0.5P	5.5%	+0.5P
当期純利益	151	170	+12.3%	200	+17.6%	240	+20.0%

# 2011年度中期計画 目標経営指標

経営指標		2010年度 (実績)	2011年度 (計画)	2012年度 (計画)	2013年度 (計画)
成長性 指標	売上高(百万円)	6,333	6,700	7,200	7,800
	経常利益(百万円)	281	300	360	430
	売上高増加率	+2.8%	+5.8%	+7.5%	+8.3%
	経常利益増加率	+47.5%	+6.4%	+20.0%	+19.4%
収益性 指標	経常利益率(%)	4.5%	4.5%	5.0%	5.5%
	ROE	4.1%	4.5%	5.3%	6.3%



■ 成長目標 : 売上高7,800百万円、経常利益430百万円  
■ 収益目標 : 経常利益率 1.0ポイントアップ、ROE6.3%

**I. クエストについて**

**II. 2010年度決算概要**

**III. 2010年度中期計画の進捗状況と  
2011年度の取り組み**

**IV. 株主還元方針**

# 株主還元方針

～株主重視の経営の実現に向けて～

## 【株主還元方針】

株主のための企業という経営スタンスを従来より堅持するとともに、株主の皆様に対する安定的な利益還元の実施を経営の重要課題と位置づけ、業績の伸張に合わせて、将来の技術獲得や人材確保に向けた十分な内部留保を確保するとともに積極的な利益配分を行ってまいります

## 【剰余金配当金基本方針】

- ・ DOE\*(純資産配当率)を指標に採用、  
早期に連結DOE5.0%を目指す

## 【2010年度の株主還元施策】

- ・ 期末剰余金配当は  
普通配当金1株当たり30円を予定  
2010年度 DOE 4.3%予定

(\*) :DOE =  $\frac{\text{普通株式に係る1株当たり個別配当金(年間)}}{(\text{期首1株当たり純資産} + \text{期末1株当たり純資産}) \div 2} \times 100$



## 本日はありがとうございました

### 将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている株式会社クエストの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願い致します。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれないようにお願いいたします。